

テレビ取材の留意点

—米国CBS・ABCの東京特派員から聴く—

2022年4月11日

講師：ランディ・シュミット 米国CBSニュース東京支局 カメラマン・エディター
アンソニー・トラタ 米国ABCニュース東京支局 プロデューサー

経済広報センターは4月11日、米国CBSニュース東京特派員のランディ・シュミット氏、同ABCニュース東京特派員のアンソニー・トラタ氏の両氏を招きオンライン懇談会を開催した。会員企業などから約50名が参加した。両氏は、日本に四半世紀以上滞在し取材してきた経験を踏まえ、日本企業への取材における留意事項や要請事項を具体的に挙げた。

インタビューに関しては、事前の質問提出やカンペによる取材者への指示は原則受け付けない姿勢を示し、ものづくりで名高い企業には製造現場を背景にインタビューすることを求めた。その際、社員の顔をぼかすよう頼まれることが多いが、クリーンな画面を好む米国の視聴者は、チャンネルを変えるおそれがあることから、ぼかしは原則受け入れ難いと述べた。

企業側が用意する映像資料は、高画質でBGMや字幕の入っていないものが望ましく、企業のロゴが映像に映り込むのは問題無いが、常時挿入されるような処理は視聴者の目を散らすので避けるべきとした。

質疑応答では、ニュースソースについて、米国の大手紙が取り上げた日本関連記事に関して、本社から取材の指示が出た事例を紹介するとともに、SNSの情報もしっかり検証したうえで取り上げることがあるとした。また、企業からの情報提供については、誰もがアクセスできるプレスリリースよりも、メールによる直接の連絡が効果的と述べた。

以 上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。